



進路選択

校長 五十嵐 圭一

時の経つのは早いもので、もう師走の声を聞くところとなりました。桜木中学校の木々も秋の深まりとともに美しく色づき、今では落葉へと移ろいました。保護者、地域の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお察し申し上げます。



【中庭の銀杏の木】

さて、本校では毎年この時期、進路指導の一環として、3年生の生徒全員と校長面談を行っています。わずか10分程度の面談ですが、生徒たちは、校長室というやや緊張感のある場所で、多くのことを語ってくれます。私は一人ひとりの生徒に、「現時点での、中学校卒業後の進路希望を教えてください。」と問いかけます。生徒たちの多くは、「〇〇高校に進学したい。」という直近の進路希望だけでなく、将来の夢についても語ってくれます。人の役に立つ仕事をしたい、語学力を生かして海外で仕事をしたい、少子高齢化の中で福祉に係る仕事をしたい、人と話をするのが好きなので人と係る仕事をしたい、スポーツに係る仕事をしたいなど、おおまかな方向性を語る生徒もいれば、エンジニアや料理人、教員、薬剤師など具体的な職業名をあげる生徒もいます。共通しているのは、自分の得意分野を生かしながら将来につなげていきたいという熱い思いです。自分の考えを自分の言葉で一生懸命に語るその姿から、生徒たちは、私たち大人が思っている以上に、自分の将来について真剣に考えていることが感じ取れます。



【研究発表会・保健体育授業】

生産年齢人口の減少やグローバル化の進展、AI（人工知能）の飛躍的な進化により、社会や職業の在り方そのものも大きく変化する可能性が指摘されるなど、これからの時代は予測困難な時代と言われています。卒業まであと約3ヶ月半となる3年生の生徒たちには、悔いのない進路選択をし、未来に向かって大きく羽ばたいてほしいと願っています。

保護者、地域の皆様に対しまして、改めて、今年一年のご支援、ご協力に深く感謝申し上げますとともに、よい年をお迎えくださいますようお願いいたします。